

2・3面 ワイドスポーツ
チャンバラ武道だ



ウレタン巻きの武具で打ち込むスポーツチャンバラ

世界チャンプは中3生

スポーツチャンバラ

遊び感覚で人気急上昇

日本で生まれた新武道「スポーツチャンバラ」の人氣が急上昇中だ。チャンバラって感覚で自由に打ち合えるのが大きな魅力。競技人口はこの三年間で倍増、日本では十五万人を超え、海外でも三十四か国、約五十万人に普及した。幼稚園児からお年寄りまで道場に通り、クラブ活動に取り入れた中学校もある。「スポ

チャン」熱はまだまだ高まりそう。二十五日には、横浜市で第一回実業団選手権大会が開かれる。

特殊プラスチックの芯(しん)にウレタンを巻きつけた武具を使い、顔にマスクをつけて剣道のように打ち合う競技。ルールは簡単。相手の体のどこでもいいから、武具を当てれば一本勝ち。

国際スポーツチャンバラ協会(本部・横浜市)の田辺哲人代表が、昭和四十六年、「これまででの武道の枠を超える競技」として考案。二年後に前身の全日本護身道連盟をつ

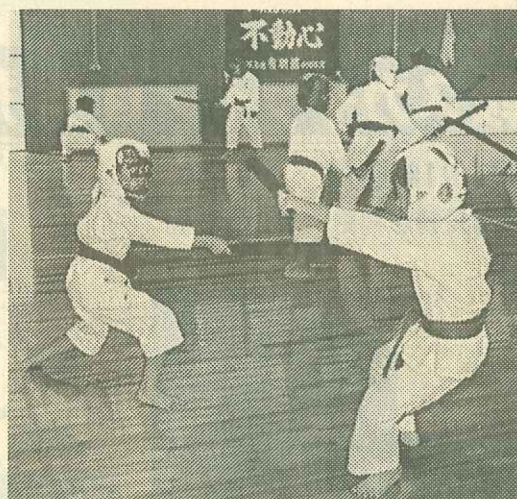
く「短刀」(長さ四十五センチ以下)、「小太刀」(六十センチ以下)、「長剣」(一メートル以下)の片手と両手持ち、「棒・杖

三年前からは幼稚園の保育を集め、各地で講習会を開き、西日本でも関心が高まっている。

大阪府連(袖岡・慎理事長)は昨年十二月に発足。約千人を指導しており、十八日、滋賀県甲西町総合体育館で開か

れる第一回近畿大会出場を目指している。

一方、東京都新宿区立戸山中では、今年四月にスポーツチャンバラ部ができ、四十人の部員が練習に励む。同校は「昔、チャンバラ(ぶっ)で遊んだことを思い出す。なじみやすく、生徒に大変な人気」と話す。



スポーツチャンバラの魅力は、武道プラス遊び心か(大阪府泉南市の有朋館で)

年末には十九回目の日本選手権が開かれるが、十六回大会からは世界選手権も同時に開催している。昨年は十七か国から選手が集まり、日本の中学三年生が世界チャンピオンになった。

WIDE SPORTS